

2017年・3月度の活動報告

1日(水)	全国漁業協同組合連合会 青年女性交流大会審査会
2日(木)	〃
2日(木)	食品表示学習会
3日(金)	NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
4日(土)	第52回四倉仮設住宅でのお茶会
6日(月)	第3回福祉部会
7日(火)	第7回理事・幹部職員定期学習会
9日(木)	食の安全ネットワーク全体会
11日(土)	沖縄視察研修
12日(日)	〃
13日(月)	〃
14日(火)	常務理事会 / NPOとちぎ消費者リンク事例検討会議
15日(水)	県知事新春のつどい
16日(木)	組合員活動委員会(中央地連)
17日(金)	平成28年度「地方消費者フォーラム」実行委員会
21日(火)	消費者ネットワーク幹事会
26日(日)	全労済生協60周年記念イベント
27日(月)	平成29年度小山市地産地消食育推進協議会総会
28日(火)	NPO 法人とちぎ消費者リンク事務局会議
30日(木)	中央地連第5回運営委員会/第2回中央地連「理事推薦委員会」/日生協議案書検討委員会

【3月度の振り返り】

◇機関運営

- 14日(火) 常務理事会
6日(月) 第3回福祉部会

◇行政関連

- 〈審議会、委員会等〉
27日(月) 平成29年度小山市地産地消食育推進協議会総会
〈行政関連その他〉
15日(水) 県知事新春のつどい

◇ネットワーク活動

- 9日(木) 食の安全ネットワーク全体会
17日(金) 平成28年度地方消費者フォーラム実行委員会
21日(火) 消費者ネットワーク幹事会

◇被災地支援、防災

- 4日(土) いわき市四倉仮設住宅でのお茶会

◇学習会、研修会

- 7日(火) 第7回理事・幹部職員定期学習会
11日(土) 沖縄視察研修
12日(日) 〃
13日(月) 〃

◇その他

- 1日(水) 全漁連 青年女性交流大会審査会
2日(木) 〃
2日(木) 食品表示学習会
16日(木) 中央地連組合員活動委員会
26日(日) 全労済生協60周年記念イベント
30日(木) 中央地連第5回運営委員会
第2回中央地連「理事推薦委員会」
日生協議案書検討委員会

◇NPO とちぎ消費者リンクの活動

- 3日(金) 事例検討会議
14日(火) 理事会
28日(火) 事務局会議

県連活動

1. 機関運営

● 2月14日(火) 第5回常務理事会を開催しました。

議案は、報告承認事項として、2月度活動報告及び決算報告承認の件、日本生協連の委員推薦の件、審議決定事項として、次月度以降の取り組み、報道代表者との懇談会、理事長専務会議の開催計画、通常総会の公示、代議員登録の公示、役員補充選任の件、第48回通常総会附議議案修正の件。

上記全て、承認されました。また、2016年度定期生協検査の状況、県連年間スケジュールを専務理事が報告しました。

● 3月6日(月)第3回福祉部会を開催しました。

地域の方々に本当に必要とされている支援は何なのか、また、それを生協としてどのように実現できるのか「地域住民のニーズを探るアンケート」を取ることにし、内容を具体化しました。参加団体毎に実施期間、配布方法、範囲などを検討し、この4月頃からアンケートを開始します。実施後の集計結果については、行政等へ発信をする予定です。

※参加者・団体…佐野短期大学教授 山田昇氏、全労済栃木、保健医療生協、社会福祉事業団、ふれあいコープ、とちぎコープ、よつ葉生協、生活クラブ生協、栃木県生協連(事務局)

2. 県連学習会

● 3月7日(火)、第7回理事・幹部職員定期学習会を開催しました。

今回のテーマは「森林・林業の現状と課題-作り上げた人工林をどう役立てるか-」講師を、宇都宮大学農学部教授 山本 美穂 氏にお願いしました。

面積の半分以上が森林である栃木県に暮らしていても、森林・林業に関わる話しを聞く機会は少なく、貴重な機会となりました。まず、世界的には文明による森林破壊の歴史があったが、日本では持続可能な森林利用の伝統を守ってきたことを教わりました。建材として使うには適した太さがあり、育ちすぎても価値が下がること、国産材は外材に比べ高価ではないものの安くても問題があること、そして、地域性として栃木県は優秀材木産地であり、家族で何代にも渡り山を守る伝統が続いてきたことなど、歴史も絡めて詳しくお話しいただきました。更に、小さい頃から木に触れ、五感で感じる「木育」の概念も教えていただき、知ることの大切さや、実践することの必要性に気付かされる学習会となりました。



- ・ 林業の現状を聞き、材木の価格や木が大きくなりすぎて来たことや、国の政策などいろいろ分かり、林業や木に対して意識を持つことができました。
- ・ 国産の材木利用がこれからの課題です。森林の知識を深め、森林の大切さを生協でも話題にし、意識を高めていきたいです。
- ・ 戦後植林した木が大きくなりすぎ、どうしていくか、国産材の消費について考えていかなければならないと思いました。
- ・ できれば国産の木で建てた家に住みたいと思う方は多いと思うのに、あんなに中間マージンがかかるのかとびっくりしました。林業従事者が生活できる様な経済活動を考えていかなければならないと思います。
- ・ 森林・林業を知るために、山村、木材市場、製材工場などに出向き、現場を知ることも大切だと感じました。(当日アンケートより)

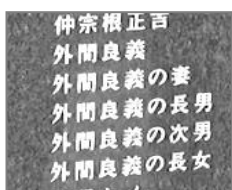
● 3月11日(土)、12日(日)、13(月)、沖縄県へ視察研修を行いました。

沖縄で見聞きする内容と、本土で得られる情報には大きな差があります。昨年に引き続き、沖縄の自治がないがしろにされている現状や、時の政策のために、普通の人々が普通に暮らすことが出来ない現実を目の当たりにし、割り切れない思いでした。現地に行かないと分からないことが多くあり、足を運んで実際に見ることの重要性を感じるとともに、平和の取り組みや、生協としての政策を考える上でも、様々な体験を通して知ること、考えることが大切と感じる視察でした

戦争へ引きずられていった罪
あの時は、どつにもならなかったと、
どうして言えるであろうか。
戦争への歯車にはめこまれ、
ひきずられて、
戦争へと生徒を引率した
教師の責任である。
不明にして、さめた眼ももたず、
戦争へ引きずられて行った罪である。
その根は深くおそろしい。
私は、今も
その重い負い目を負いつづけている。
仲宗根政善 石に刻む』

視察行程		
3月11日(土)	3月12日(日)	3月13日(月)
→10:30 羽田発 13:25 那覇着 ・轟の壕(糸満市) ・ひめゆりの塔(祈念資料館) ・魂魄の塔 ・沖縄県平和祈念資料館・平和の礎	・宜野湾嘉数高台公園 ・辺野古・大浦湾・キャンプ・シーワブ前 ・名護市内一恩納村一読谷村 ・座喜味城址 ・嘉手納米軍飛行場 ・首里城及び司令部壕	・恩納村漁協にて、活動の説明 ・(サンゴ礁の保護活動についてなど) ・座学・現場説明 →15:05 那覇発 17:25 羽田着

沖縄視察研修報告書より抜粋

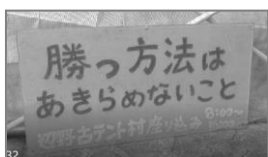
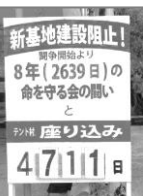


「平和の礎(いしじ)」には、沖縄戦で亡くなった24万人余りの名前が、家族単位で刻まれている。だが、なかに名前のない人の刻銘が220人もある。いちばん多いのは本島中部の西原町の49人。外間良義さん一家5人の名があるが、良義さん以外は「妻、長男、次男、長女」とだけだ。一家を知る人はいた。しかし、だれも家族の名前までは覚えていなかった。良義さんは裕福なサトウキビ農家で、瓦屋根のハイカラな屋敷に住んでいたという。西原村(当時)は日本軍の司令部があった首里に隣接していて、日米軍激突の最前線になった。1か月の攻防で村は焼け野原になり、村民の戦没率は46.9%(実に2人に1人)、一家全滅が476世帯もあった。良義さんの屋敷跡は70年経ったいまも空き地のまま。同様の空き地がいくつもある。



嘉数戦に保存されている、砲撃で破壊されたトーチカが戦いの激しさを物語っていた。トーチカの建設費は1基あたり5500万円になるとのこと。ガイドの稲福さんによると、戦争がいかに生産性の無いものかを知ってもらう為の場所になっているそうだ。

辺野古テント村座り込みでのお話し



「知事は知事なりに、市長は市長なりに、現場は現場なりに頑張っているのですが、沖縄だけの力では止め切れません。だから、全国の皆さんが持ち帰って、情報を聞くときも気を付けながら聞こうと意識を変えていただくなど、問題意識を持ってもらいたいと思います。」



恩納村漁協内の会議室にて、産地での取り組みや、生産・品質管理についてお話し頂いた。(株)井ゲタ竹内は、CO-OP味付もずくの製造業者であり、その材料を生産しているのが恩納村漁協である。モズクの養殖には、栄養分や酸素を作り出すサンゴは必要不可欠。(株)井ゲタ竹内と恩納村漁協では、生協組合員とも一緒になって、サンゴの苗を植え付けることで、サンゴを増やす取り組みを行っている。更に、きれいなサンゴ礁の海は、観光客の誘致にもつながり、観光船の営業も漁協が行っている。観光客が宿泊するホテルが増加するが、ホテ

ルからの排水などについては厳しい基準を設けつつ、ホテル内の土産物店へ、もずくや海ぶどうなどを供給する関係となっている。このような、地域全体の経済活性化につながる取り組みにより、恩納村漁協では若い生産者が年々増加しているようだ。



湧田さんにご用意いただいた、DVD「いのちの森高江」を視聴させていただき、ヘリパットの建設が進む高江地区の現状を学んだ。「世界に希少な自然と生き物の宝庫は、戦争と軍事訓練の場となることは許されないことではないでしょうか。豊かな自然と環境は、今ある私たちだけのものではありません。未来の子どもたちからの預かりものです。高江の人々は大雨や着陸帯の破損の状況を監視し、自然破壊を告発して静かな村を取り返すために頑張っています。」

※DVDをご覧になりたい方は、生協連事務局へお声掛け下さい。

沖縄視察研修にご尽力くださった皆様

コース策定、全日ガイド:湧田 廣 様(沖縄自治研)/ガイド:稲福 勉 様(沖縄平和ガイド)

恩納村漁協視察…(株)井ゲタ竹内 常務取締役 竹内 周 様/東京営業所 所長 中西 穂高 様/恩納村漁業協同組合 指導事業担当 比嘉 義視 様/販売 仲村 英樹 様

3. 行政関連

<審議会、委員会等>

- 3月27日(月)平成29年度小山市地産地消食育推進協議会総会に出席しました。

今年度の活動報告がありました。また、来年度の活動方針が決まりました。

4. その他

- 3月30日(木)中央地連第5回運営委員会、第2回中央地連「理事推薦委員会」、に出席しました。また、同日、日生協の議案検討委員会が開催されました。

- 3月1日(水)2日(木)、全漁連 青年女性交流大会審査会に、会長理事が審査委員として出席しました。

全国漁業協同組合連合会主催で、年に1回全国の青年・女性漁業者が集まり、日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流を行います。それにより知識や情報を共有・進化させることで、水産業・漁村の発展と活性化に資することを目的に開催されています。

- 3月2日(木)食品表示学習会に参加しました。

「食品表示の、ここがポイント」～食品表示に関する基礎ルールと留意事項～

講師:栃木県食品表示法担当者

健康増進法担当者平成7年に食品表示法が施行されたことを受け、食品表示の理解を深めていただくよう、食品表示の役割とルール、健康食品に関する景品表示法及び健康増進法上の留意点等についてお話を伺いました。

- 3月16日(木)日生協中央地連組合員活動委員会に出席しました。

2016年度のまとめと、2017年度の方針について報告されました。また、下記3生協が事例報告を行い、参加者で交流しました。

- ①「地域社会づくりにおける茨城の連携」 報告者:パルシステム茨木
- ②理事退任後の「地域社会づくり」についてと、パルシステム神奈川ゆめコープの地域コミュニティ政策」 報告者:パルシステム神奈川ゆめコープ
- ③地域の茶の間「わにな～れ」の取り組み 報告者:コープにいがた

〈NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

- 3月3日(木) 理事会を開催しました。
- 3月14日(水) 事例検討会議を開催しました。

検討委員に弁護士1名が加わり、全員で15名となりました(弁護士10名、消費生活相談員4名、元消費生活相談員1名)。10月～3月の間に、問題が疑われる業者2件に対し、文書で申し入れを行っています。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 3月9日(木)食の安全ネットワーク全体会で学習会を開催しました。

演題は「放射線照射食品の現状と予想される今後の動勢」宇都宮大学名誉教授 宇田 靖氏に講師をお願いしました。日本では現在ジャガイモの芽止めとして照射が認められています。国内流通する青果のうち、0.9%にあたるこのことで、放射線照射の方法や安全性の評価について、研究データ等をもとに解説いただきました。また、99%が輸入品であるスパイス業界からも、殺虫目的での使用要望があること等、今後の動勢についても分かりやすくお話しいただきました。



- ・ 日本では、ジャガイモのみ「コバルト60」というガンマー線照射が認められているということがわかり、日頃目にしている芽止めジャガイモがこのような照射によるものと改めて認識していかなければと思いました。品質保持には必要なことなのかもしれませんが、放射線照射に依存することはなるべく避けられたらと思いました。
- ・ 食品への放射線照射については、まったく知識がありませんでしたが、本日の学習会によって基本的な知識を得ることができました。(当日アンケートより)

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 3月17日(金)、平成28年度地方消費者フォーラム実行委員会に出席しました。

2月に長野市で開催されたフォーラムの振り返り会議に出席しました。なお、来年度は群馬県で開催される予定です。

- 3月21日(火)、消費者ネットワーク幹事会を開催しました。

学習会「高齢者の消費者被害の実態と見守りの重要性～最近のトラブル事例から～ 講師:NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット理事長 葛谷 理子 氏」を行いました。

高齢者の消費者被害の実態と特徴について学習しました。講和の締めくくりに、被害にあっただけで済ませず、金銭的な回復は大変難しいこと、だからこそ地域での見守りを強化し、未然に防ぐことが重要であるとお話を伺いました。その後、行政の消費者問題への取り組み内容や、地域との連携の進め方について等、質疑応答を行いました。

被災者支援活動 防災の取り組み

1. 東日本大震災、福島第一原発事故被災者支援の取り組み

- 3月4日、第52回目となる、いわき市四倉仮設住宅でのお茶会を開催しました。

震災の翌年2012年3月から開始したお茶会も、今回が最終回となりました。参加者11名、スタッフ15名、最後ということで、下野新聞社の石井記者が取材に訪れました。3月末日には仮設住宅も閉鎖されます。主に広野町からこちらへ非難されて来た方たちは、当初100世帯を超えていましたが、今は35世帯ほどになり、中には荷物だけを置いている方もいるとのことでした。お茶会の参加者もすでに転居先は決まっていますが、ここで繋がった皆さんと会えなくなるのが寂しいとおっしゃっていました。昨年1月、お茶会で米寿のお祝いをしたHさんは毎回の参加者で「一人暮らしになってしまったので、ここで皆とお喋りしたり、一緒に手を動かしたり、本当に楽しみにしていた」と下野新聞のインタビューに答えられていました。



この6年の間に、お聞かせいただいた住民の気持ちには様々な変化があり、避難生活の問題点等を、その都度教えていただきました。狭い空間での長すぎる「仮住まい」が終わることは1つの改善なのかもしれませんが、また新たな問題があり、今後も1人ひとりに寄り添った支援が必要となっています。

四倉お茶会への参加者とスタッフ人数(のべ)			
	日程	参加者(名)	スタッフ(名)
2012年	3月～3月	143	109
2013年	4月～3月	140	119
2014年	4月～3月	123	107
2015年	4月～3月	99	93
2016年	4月～3月	66	73
<hr/>			
2017年	1月28日	8	12
	3月4日	11	14
	合計人数	590名	527名

(参加団体…とちぎコープ/よつ葉生協/NPO ウィズ/栃木県生協連)



仮設遠景



お茶会をした集会所



集会所の前で最後の挨拶



重箱に料理を盛りつけてお弁当に。



手芸は皆でアクセサリー作り。お引越しの邪魔にならないよう小さなものを…



参加者のSさんが、(↑実物大)クラフトテープで作った小さな靴をスタッフにプレゼントしてくれました。

● **3月7日(火)、被災地の情報提供**

みやぎ生協さんからの報告をもとに、「3.11を忘れない～被災地のいま～、第43回 人とひとが支えあって孤立を防ぐ」をアップロードしました。

「災害公営住宅の自治会活動には、既存の自治会、地域のお世話役、NPO など“人を支える杖”があることが大事です」。気仙沼市社会福祉協議会ボランティアセンターの皆さんがそう言って例に挙げたのが、南郷三区自治会です。南郷三区自治会設立には、南郷地区に元々あった自治会組織の協力がありました。住民同士のお茶会をきっかけに高齢者のサロンも生まれています。

藤原武寛さん(南郷三区自治会会長)は住宅内を“支える杖”の一人です。「入居者の6割近くが65歳以上の高齢者。自治会では高齢者の孤立防止と住民同士の交流のため、月1回イベントを開催していますが健康上の理由や気持ちの問題で参加しない方もいます」。

藤原さんは時間を見つけてはそうした住民のもとを訪問するようにしています。「足を向けると2時間でも3時間でも話し続ける。悩みや困り事を誰かに聴いてほしくて、待っているんです」。また各フロアの班長さんたちは、郵便物や新聞が溜まったままの家がないかどうか、気を付けて見るようにしています。

住民同士のつながりは徐々に深まりつつありますが、新たな課題も浮上してきています。「重いストレスを抱えた方や震災と避難のショックで精神的に参っている方が増えているような気がします」。今年の3月11日で震災発生から6年が経ちますが、実際の復興に心が追いついていない人は、まだ大勢いるのです。「深夜の大声や騒音などのトラブルも発生している。今後は家賃の被災者特例が無くなることで経済的に困窮する世帯も出てくるでしょうから、それも心配です」。

やっと落ち着く場所を手に入れた人たちが、そこで安心して暮らし続けていくためにどんな支えが必要か、これからも考えていかなければなりません

2017年・4月度の活動予定

3日(月)	第6回くらし部会
4日(火)	常務理事会
6日(木)	食の安全ネットワーク
8日(土)	福島県浪江町視察研修
10日(月)	NPO法人とちぎ消費者リンク事例検討委委員会
11日(火)	定例理事会
12日(水)	2017年度消費者カレッジ(自治医科大学)
14日(金)	福祉部会
18日(火)	消費者ネットワーク
20日(木)	報道代表者との交流会
21日(金)	NPO法人とちぎ消費者リンク理事会
22日(土)	NPO法人とちぎ消費者リンク第2回総会
25日(火)	第8回 理事・幹部職員定期学習会
29日(土)	労働福祉協議会福祉まつり

※6月30日(金)第48回栃木県生活協同組合連合会総会